



第 76 号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟
会 長 岩 崎 貞 夫

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
榊マルツ電波二の宮店 付属舎
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

福井県剣道連盟

一般財団法人として

新たにスタート！

去る三月十八日(日)および五月二十七日(日)に福井県剣道連盟の理事会・評議員会が開催されました。平成二十四年度の事業計画、収支予算ならびに平成二十三年度の事業報告、収支決算に加え、当連盟の一般財団法人化に向けた定款、組織、役員案について審議がなされました。

◎定款で法人としての形を定める◎

これまでの規約に替えて、一般財団法人としての当連盟の目的や事業、評議員会や理事会などの組織の構成を、定款によって定めることとなります。

定款に規定する当法人の目的は次のとおりです。

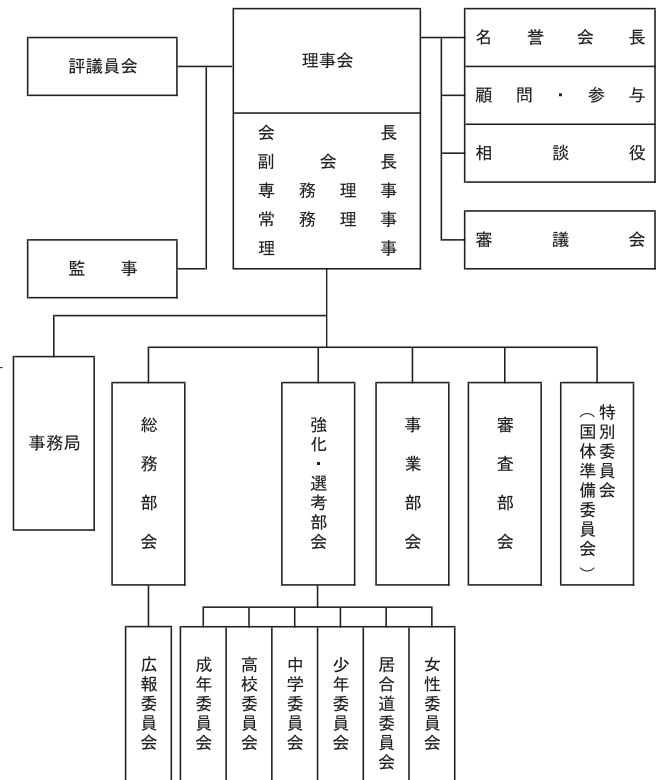
「当法人は、福井県内の剣道連盟の総合的組織として、剣道(居合道及び杖道を含む)の普及発展に必要な事業を行い、もって心身の健全な発展、豊かな人間性の涵養、人材の育成並びに地域社会の健全な発展に寄与し、併せて剣道の理念等を実践することを目的とする。」

◎理事会、部会、委員会です業を推進◎

当連盟の事業を推進するため、業務の執行機関である理事会のもとに、四つの部会と七つの委員会を、また国体準備のための特別委員会を設置します。

理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事、理事から成り、業務

一般財団法人福井県剣道連盟 組織図



執行の決定等を行います。

総務部会、強化・選考部会、事業部会、審査部会の四部会が、具体的に業務を行います。また、総務部会の下に広報委員会、強化・選考部会の下に成年委員会、高校委員会、中学委員会、少年委員会、居合道委員会、女性委員会を置き、各分野、部門ごとの業務を行います。

◎新役員の体制が整う◎

法人化に伴う、新たな役員案が承認されました。理事には各部会の部長、副部長、各委員長等が選考されています。

専務理事	岩崎 貞夫
常務理事	片山 外一
副会長	相模 利朗
会長	西山 清光
専務理事	河西 純二
常務理事	堀江 範雄
副会長	奥井 俊雄
会長	松井 喜代治
専務理事	林 茂夫
常務理事	柳原 潤一郎
副会長	堤 保昭
会長	宮川 浩一

部会・委員会一覧

区分	名称	担 当 事 項
部 会	総務部会	① 定款、規則等の制定、改廃に関すること。
		② 人事および財務に関すること。
		③ 組織および会員の資格に関すること。
		④ 広報委員会の担当事項についての指導・助言に関すること。
		⑤ その他、他の部会および委員会の任務に属さない事項。
	強化・選考部会	① 剣道および居合道の競技力向上に関すること。
		② 選手強化全般および選手選考に関すること。
		③ 成年委員会、高校委員会、中学委員会、少年委員会、居合道委員会、女性委員会の担当事項についての指導・助言に関すること。
	事業部会	① 大会開催に関すること。(県選手権、県民スポーツ祭、県下剣道大会等)
		② 指導者の養成に関すること。(全剣連講習会、伝達講習会等)
		③ 剣道の普及および振興に関すること。(世界一剣道教室開催等)
	審査部会	① 段位審査に関すること。
② 形講習会に関すること。		
委 員 会	広報委員会	① 広報に関すること。(広報誌、HP、報道関係広報)
		② 剣道の普及啓発に関すること。
		③ 広告料に関すること。
	成年委員会	① 成年の競技力向上に関すること。
		② 各種大会の選手強化および選考に関すること。
	高校委員会	① 高校生の競技力向上に関すること。
		② 各種大会の選手強化および選考に関すること。
	中学委員会	① 中学生の競技力向上に関すること。
		② 各種大会の選手強化および選考に関すること。
	少年委員会	① 少年剣道の普及および技術の向上に関すること。
		② 各地区剣道連盟少年部の育成強化に関すること。
		(少年剣道錬成大会、ジュニア育成剣道大会、育成強化錬成会の開催・運営)
居合道委員会	① 居合道の普及および技術の向上に関すること。	
	② 全剣連制定居合の普及に関すること。	
女性委員会	① 女性剣道の普及に関すること。	
特別委員会 国体準備委員会	① 国体施設・設備に関すること。	
	② 国体運営に関すること。	

小 岩 遠 西 船 坂 坂 柳 森 中
 辻 谷 山 出 田 本 田 澤 岡 西
 淳 治 証 和 久 裕 豊 峰 裕 泰
 二 彦 子 男 郎 一 郎 嗣 生 一 平

福井県剣道連盟は、一般財団法人
 となることで、これまでの任意団体
 から法人格を持った団体に生まれ変
 わることになります。
 岩崎会長のもと、これまで以上に
 積極的に事業を進めるとともに、平
 成三十年に開催が予定される福井国
 体に向けた準備や選手強化など、本
 県剣道界のより一層の活性化を図る
 ため、皆様のご理解、ご協力をお願
 いいたします。

大会報告行事報告

平成二十四年度年度
県下春季選手権大会

平成二十四年四月二十二日(日)
 於 敦賀市立体育館
 平成二十四年四月二十二日(日)に
 敦賀市立武道館で標記の予選会が開
 催されました。
 各部門の入賞者は次のとおりです。

男子団体の部

- 優勝 敦賀高校
- 準優勝 啓新高校
- 第三位 美方高校
- 第三位 丸岡高校



女子団体の部

- 優勝 美方高校
- 準優勝 啓新高校
- 第三位 高志高校
- 第三位 敦賀高校



第4回全日本都道府県対抗女子剣道
優勝大会福井県選手権会試合結果

四月二十九日(日)に県立武道館
 で標記の大会が開催されました。各
 部門の入賞者は次のとおりです。

先鋒の部(高校生)

六月県高校総体個人戦優勝者
 次鋒の部(大学生)

- 優勝 北川 藍 福井工業大学
- 準優勝 栗林由香 福井工業大学
- 第三位 伊藤藍子 国士舘大学
- 第三位 田中更幸 福井工業大学
- 中堅の部(年齢18歳以上、35歳未満
 の者 高校生、大学生を除く)

- 優勝 山田聖子 越前地区
- 準優勝 田中智子 鯖江地区
- 第三位 岡本 華 三方地区
- 第三位 池田 奈央 三方地区
- 副将の部 (35歳以上45歳未満)
- 優勝 森 宣子 鯖江地区
- 準優勝 高嶋 寿美 福井地区
- 第三位 江指 恵 丹生地区
- 大将の部 (45歳以上)
- 優勝 島田奈美江 福井地区
- 準優勝 新井 洋子 福井地区

第60回全日本都道府県対抗 剣道優勝大会試合結果

標記大会が四月二十九日(日)に 大阪市中央体育館で開催されました。

- 1 回戦
 - 福井県3 / 1 | 5 / 2 広島県
 - 先鋒 小出 メ × コ 藤原
 - 次鋒 富田 メ一本勝 加藤
 - 五将 中村 メ | 一本勝メ延明
 - 中堅 西川 メ | ココ吉岡
 - 三将 長谷川 × 大熊
 - 副将 畑 × 河内
 - 大将 堀江 × 小原
- 先鋒の小出選手は引きメンを先取りし、押し気味に試合を進めました。終了間際にメンに跳んだところを出端コテを打たれ、引き分けとなりました。

次鋒富田選手は、中盤に担ぎメンを放つと、これが見事に決まり、一本勝ちでした。

五将中村選手は、中盤に鏝競り合いから不用意に引いたところに、メンを打たれ一本負けとなりました。中堅西川選手は、立ち上がりコテを打たれ一本を取られましたが、すぐに引きメンを決め、一本一本の勝負となり、押し気味に試合を進めました。審判から見えない場所だったために、後打ちのメンを取られ負けとなりました。

三将長谷川選手、副将畑選手、大将堀江選手の各選手は、相手が勝負に出来ないために引き分けとなっていました。大将堀江選手の立ち上がりに惜しいメンがありました。



一本とならなかったことが残念でした。

内容的には、このような試合方法になって初めて高校生、大学生がリードして中堅陣に試合を回しましたが、中堅陣が2敗し、後陣の追い上げも届かず、残念ながら一回戦敗退となりました。

監督 西川 謙 記

北信越合同稽古会

二〇一二年五月十九日(土) 山本重美範士、山下・末平・相模 教士八段の先生方をはじめ、北信越各県より約50名(学生5名、女性7名含む)が集まり、福井県立武道館にて北信越合同稽古会が行われました。

最初に、開催県を代表して相模教士より開会の言葉があり、山本重美先生が五月の京都にて範士号を取得された事が紹介されました。その後、山本範士よりお話を頂きました。その中で、オーストラリアに講習会に行かれたお話がありました。オーストラリアの剣道人口は約800人。日本の24倍という広大な土地であり、稽古をするにも飛行機で4時間かけて駆けつけるほど練習環境には恵まれていないことなどの話がありました。そのような環境の中であっても、受講生はとても熱心に稽古に取り組



んでおられたそうです。そういったことから、受講生のみんなは練習環境等にも恵まれているのだから一生懸命に練習に取り組んで欲しいと激励されました。

その後、まず基本練習が行われ、その中では3つのポイント(①間合い②姿勢③呼吸)についての指導がありました。最後に地稽古を行いました。稽古会は無事に終了しました。次回は、九月八日(土)に長野県で行われます。

平成二十四年度 岐阜国体選手選考会

平成二十四年五月二〇日(日)
於 福井県立武道館 大道場

選手強化・選考委員長 堀江 範雄
昨年末に同委員会において、本年度の岐阜国体選手選考方法を検討したところ、今までの1回の試合で選手を決定する方法をやめ、予選会を開催して数名の強化指定選手を選考し、その後試合を重ねポイント制を導入した成績の優秀(勝率ポイントの高い)選手を本年度の国体選手として決定することとしました。一月に52人による予選会を実施し、その内32人の指定選手を選出しました。底冷えのする二月から五月までの間、毎月指定選手によるポジション毎のリーグ戦を実施、五月二十日を最終試合日として、その結果から本年度岐阜国体等の選手を選考し、同委員会が決定しました。

予選会から最終試合日まで5か月間という長丁場であり、予選会を含み全222試合を消化することで、強靱な精神力・体力が要求され、過酷さのあまりに毎回試合をする度に辞退者が出るような状況でした。それでも選手は出場1枠を目指し勝負に賭けていました。

中でも接戦で代表となったのが男

子の次鋒、瀬尾選手。試合最終日までもつれ込み、同僚の鈴木選手に1ポイントの僅差により初めての国体出場の座を射止めました。

また、女子大将の道内選手も新井選手と同数ポイントであったため決定戦の末、逆ドウを決め代表となりました。

大将の西川選手については、稽古中左足肉離れを起こし試合もままならない状態でありましたが、僅差のポイントで追従柳澤選手を下し、国体連続の代表となりました。正に自分が代表になるぞ!という執念であったと思います。

今回この様な選考方法を実施した中で感じたことは、毎回の試合を如何に戦うか、またコンディションを維持することの難しさ、大切さ、1勝の重み、日々精進である、ということです。

さて、本年度の国体選手等が決定しましたが、選手決定が終わりではなく、これから始まりであり、今後も更に精進して頂き、本年8月、本県で開催される北信越国体では1位通過により本国体に出場し、そして岐阜国体での入賞を期待するものであります。

私を含め選手皆さんの健闘を祈ります。

最後になりましたが、この全試合

に亘り審判の労を取って頂いた先生方には感謝申し上げる次第であります。ありがとうございました。

【男子】

- 先鋒 中村 圭作(県警)
- 次鋒 瀬尾 祐輝(県警)
- 中堅 畑 祐一郎(福井テレビジョン)
- 副将 堀江 範雄(県警)
- 大将 西川 讓(教員)

【女子】

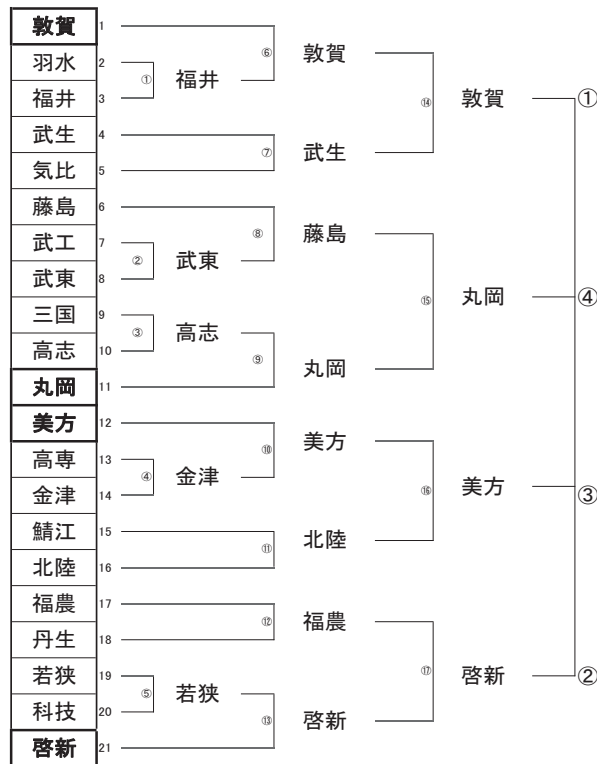
- 先鋒 山田 聖子(金井学園)
- 中堅 高嶋 寿美(教員)
- 大将 道内由佳里(金井学園)

春季総体

平成二十四年六月一日〜三日

於 福井県立武道館

男子団体の部



女子代表

決勝リーグ

男子

	敦賀	啓新	美方	丸岡	勝ち点	本数	順位
① 敦賀	△	○(5) △(3)	○(7) △(4)	○(4) △(3)	3	16 10	1
② 啓新	△(2) △(2)	△	△(2) △(3)	○(3) △(3)	1	7 7	2
③ 美方	△(3) △(1)	○(3)	△	△(3) △(2)	1	9 6	3
④ 丸岡	△(3) △(1)	△(2)	○(4) △(3)	△	1	7 6	4

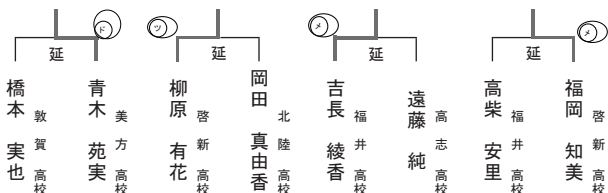
女子

	美方	啓新	北陸	敦賀	勝ち点	本数	順位
① 美方	△	○(4) △(2)	○(5) △(2)	△(3) △(2)	1.5	12 6	2
② 啓新	△(1) △(0)	△	△(2) △(2)	△(2) △(1)	0.5	5 3	4
③ 北陸	△(5) △(2)	△(2)	△	○(5) △(2)	1	12 6	3
④ 敦賀	○(4) △(3)	○(3) △(2)	○(6) △(3)	△	3	13 8	1

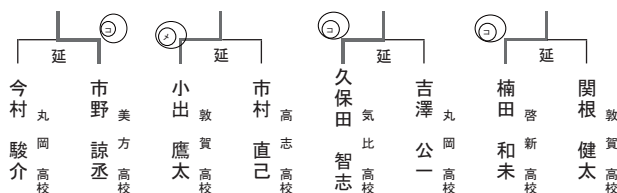
女子団体の部



女子個人ベスト8



男子個人ベスト8



女子個人決勝リーグ

	青木	柳原	吉長	福岡	勝数	勝率	順位	氏名	高校名
青木	△	△	○(5)	△	1	1/1	3	優勝	吉長綾香 福井
柳原	○(2)	△	○(3)	△	2	2/2	2	2位	柳原有花 啓新
吉長	○(2)	○(2)	△	○(3)	3	4/3	1	3位	青木苑実 美方
福岡	△(1)	△(1)	△(1)	△	0	0/0	4	4位	福岡知美 啓新

男子個人決勝リーグ

	市野	小出	久保田	楠田	勝数	勝率	順位	氏名	高校名
市野	△	△	○	△	0	0/0	4	優勝	楠田和未 啓新
小出	○(2)	△	○(1)	△	2	2/2	2	2位	小出鷹太 敦賀
久保田	○(2)	△	△	△	1	1/1	3	3位	久保田智志 気比
楠田	○(2)	○(1)	○(2)	△	3	5/3	1	4位	市野諒丞 美方



福井養正館 A (小学生の部最優秀賞)



新風館愛宕坂道場 A (中学生の部最優秀賞)

第26回福井県少年剣道錬成大会
 (兼)第47回全日本少年剣道錬成大会
 福井県予選
 平成二十四年六月三日(日)
 於 敦賀市立体育館



豊神館A
(小学生の部優秀賞)



木田剣道スポーツ少年団A
(小学生の部優良賞)



栗野剣道教室A
(小学生の部優良賞)

小学生の部
 優勝 福井養正館
 準優勝 豊神館A
 第三位 木田剣道スポーツ少年団A
 第三位 栗野剣道教室A



木田剣道スポーツ少年団A
(中学生の部優秀賞)



栗野剣道教室
(中学生の部優良賞)



三方沈着勇断道場A
(中学生の部優良賞)

中学生の部
 優勝 新風館愛宕坂道場A
 準優勝 木田剣道スポーツ少年団A
 第三位 栗野剣道教室
 第三位 三方沈着勇断道場A



平成二十四年度・剣道中央講習会(東日本)・女子剣道審判講習会(伝達講習会)

平成二十四年六月十日(日)

於 県立武道館

堀江範雄教士七段・堀江ユミ六段・

江指恵五段を講師として、標記の講習会を開催致しました。

各地区より指導者41名の参加がありました。

開始にあたり河越専務理事より、「審判員の行動及び有効打突の見極めが試合を良くも悪くする、本日の講習会で今一度見直し、今後の剣道発展に役立ててほしい」とのあいさつで、講習会が始まりました。

午前の部 「試合・審判に関わる全剣連の動向」「日本剣道形」

「審判法」

午後の部 「木刀による剣道基本技稽古法」「審判法」「救急法」「稽古会」

と盛りだくさんの内容でしたが、講師の先生方によるユーモアを交えた話で、真剣さの中にも笑顔があり、中身の濃い講習会となりました。

受講生のみなさんは、緊張しながらもさわやかな汗を流していました。

事業部会 奥井俊雄

第50回北信越高等学校剣道大会

平成二十四年六月十五日(金)～十七日(日)
於 新潟市東総合スポーツセンター

女子個人の部

1 回戦

高柴(福井) ーコ 関原(新潟商業)

岡田(北陸) ーコ 森澤(津幡)

2 回戦

柳原(啓新) ーメ 西出(金沢)

青木(美方) ーコ 遠藤(新潟商業)

吉長(福井) ーメ 古畑(長野商業)

橋本(敦賀) ーコ 三井(上田)

遠藤(高志) ーコ 井出(佐久長聖)

福岡(啓新) ーメメ 森田(星稜)

3 回戦

柳原(啓新) ーコメ 今村(富山北部)

男子個人の部

1 回戦

今村(丸岡) ーメ 野中(佐久長聖)

関根(敦賀) ーメ 若林(龍谷富山)

市村(高志) ーコ 山崎(羽咋工業)

2 回戦

小出(敦賀) ーメ 早瀬(高朋)

吉澤(丸岡) ーメ 柳沢(長野商業)

市野(美方) ーメ 斎藤(新潟商業)

久保田(気比) ーメ 宮野(高岡工業)

関根(敦賀) ーコ 西川(金沢桜丘)

楠田(啓新) ード 藤元(新潟商業)

3 回戦

小出(敦賀) ーメ 上野(屋代)

吉澤(丸岡) ーメ 青山(龍谷富山)
久保田(敦賀気比) ーメ 石田(新潟商業)

女子団体予選リーグ

北陸 1勝3敗

美方 3敗1引き分け

啓新 1勝2敗1引き分け

敦賀 2勝2敗

男子団体予選リーグ

丸岡 1勝3敗

敦賀 2勝2敗

啓新 2勝1敗1引き分け

美方 3敗1引き分け

優秀選手

男子 宮浦 秀明 (啓新)

女子 河瀬 涼香 (敦賀)

第64回北陸地区国立大学体育大会

平成二十四年六月二十三日(土)

於 県立武道館

試合結果

男子団体戦

優勝 富山大学 A

準優勝 福井大学 A

第三位 金沢大学 A

女子団体戦

優勝 金沢大学

準優勝 福井大学

第三位 富山大学

男子個人戦

優勝 久保田陽介 (金沢大)

準優勝 山嶋 大雅 (金沢大)
第三位 村中 眞 (富山大)
第三位 河合 研人 (金沢大)

女子個人戦

優勝 松山 香織 (金沢大)

準優勝 森岡 奈美 (金沢大)

第三位 堀 晴菜 (福井大)

第三位 渡辺 幸 (福井大)

福井県知事杯

第9回福井県剣道選手権大会

平成二十四年六月二十四日(日)

於 若狭町三方体育館

試合結果

男子の部

優勝 鈴木 秀典 (警察)

(前年度優勝者(2連覇))

準優勝 長谷川峻右 (警察)

第三位 鹿本 裕登 (警察)

第三位 元井 健伍 (敦賀地区)

女子の部

優勝 山田 聖子 (越前地区)

(前年度優勝者(3連覇))

準優勝 伊藤 藍子 (坂井地区)

第三位 北川 敦子 (坂井地区)

第三位 田中 更幸 (福井地区)

佐久間勉生誕地、故小堀源治郎

「沈着勇断」を銘に、ここ若狭町において男子39名、女子25名が、本年



優勝者

度の知事杯の栄冠と、男子、女子それぞれの全日本選手権大会の出場権をかけた大会が開催された。

冒頭挨拶に岩崎会長からは「自分が選手権に出場するんだ。」という強い意気込みで試合に臨んでほしい。

また森下町長からは試合は全力で戦い、その後は若狭のもてなしを満喫してほしいと、選手をリラックスさせる言葉をかけて頂いた。

男子の部については、延長戦があるものの全般的に時間をかける試合が少なく、選手は積極的に技を出し好勝負が相次いだ。結果ベスト8には、警察官が5名、教員、会社員がそれぞれ1名が残った。

準決勝戦、第1試合は警察官同士の戦いで、準々決勝で松ヶ平選手に飛び込み面を決めて勝ち上がった前年度優勝者鈴木選手と、先輩の瀬尾選手を上段の構えから豪快に面を2本決め勝利したダークホース的な鹿本選手との戦いとなった。試合は落

ち着いて普段通りの試合運びをした鈴木選手がツキを2本決め先輩の貫録を見せつけた。もう一つの準決勝戦は、教員の相馬選手を延長の末コテを決め勝ち上がった会社員の元井選手と、これも延長戦の末教員で試合巧者の西川選手を引きメンで辛くも勝利した警察官の長谷川選手との戦いとなった。結局これも延長の末、元井選手が受けた反対側を長谷川選手は2段打ちで痛打し、勝利し決勝に勝ち上がった。

決勝戦は昨年と同カードの鈴木選手対長谷川選手となった。試合は長谷川選手が昨年のリベンジと盛んに技を仕掛けるがなかなか有効打突が決まらず、最後には一瞬長谷川選手の足が止まったところを鈴木選手の引きドウが決まり鈴木選手の連覇が決まった。地道に剣道に対する姿勢が勝利をもたらしたと言えよう。結局、男子については、原発警戒でなかなか稽古時間が取れないにも関わらず警察官が上位を占めた。また、3位に入賞した元井選手にあつては会社員でありながら勝負勘があり、普段の稽古の質の高さが窺えた。

女子の部については、高校、大学生の出場者が多くベスト4には、昨年度優勝者の教員山田選手と、大学生3人が残った。

準決勝戦の第一試合は、大会三連

覇を目指す山田選手対上段で県立大学生の北川選手との試合であったが、山田選手が得意の引きドウ二本を決め勝ち上がった。もう一つの準決勝戦は国士舘大学の伊藤選手と福井工業大学の田中選手との戦いで、延長の末辛くも伊藤選手が勝利した。決勝戦は男子同様、昨年と同一カードとなった。

決勝戦では試合開始早々山田選手がドウを決め、これを守り逃げ切るかと思われたが、伊藤選手の積極的な攻めからメンを取り返し、時間切れとなり、延長戦に突入した。延長戦途中お互いが引きメンを打ち、審判員がそれぞれ紅白に分かれる大変見ごたえのある試合となり、最後に豪快に飛び込んだ山田選手のメンが決まり大会3連覇を達成した。山田選手の執念の勝利と言えるであろう。

女子については、学生が教員の山田選手を如何に倒すかが今後の目標になる大会となった。優勝した男子鈴木選手、女子山田選手については、全日本選手権大会において、昨年2回戦まで勝ち上がったので今回は更に上を目指し稽古に精進してほしい。

最後に審判の労を取って頂いた審判長の相模先生をはじめ審判員の先生方、また今回開催して頂いた若狭地区剣道連盟に対し厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

みんなの広場

㈱アイビックス剣道部

私たちアイビックス剣道部は、平成二十年より活動を始めた歴史の浅い剣道部です。警備会社らしく、力強く闘志あふれる剣道を目指し、日々の稽古や警備員としての訓練を行っています。

現在は、串田総監督、森瀬監督のもと、男子剣道部6名、女子剣道部1名で活動しています。勤務内容が原子力発電所の警備や会社・一般住宅の警備、事務業務など多岐にわたっているためなかなか全員で集まっている稽古は出来ませんが、通常は、各部門が所属している市剣道連盟の稽古や母校での稽古などを行っていきます。また、福井県実業団大会の前は特別訓練期間を設けていただき、部員が集まった稽古を行っております。稽古は厳しい中にも和気あいあいとした雰囲気です。チームの結束の固さがうかがわれます。

串田総監督の「アイビックスに警備を任せておけば安心！」と思ってもらえるためには、強い警備員でなければならぬ!!との言葉に奮起し、

剣道部・クラブ紹介

実業団大会優勝をめざし稽古に励んでいます。

㈱アイビックス剣道部

総監督 串田彰吾

監督 森瀬一馬

剣道部員 堤腰一昭・高木裕和・伊部一徳・小堀将年・小堀幸広・小松原翔・金子彩夏

事務局 ㈱アイビックス敦賀支店



豊剣道教室豊神館道場

豊剣道教室は、昭和六十二年より創立され、主に鯖江市豊小学校校区を対象に小学生16名、中学生4名、



高校生2名が活動しています。稽古は準備運動、素振りから始まり基本練習、打ち込み・かかり稽古とし、た打ちをさせることを念頭に置いています。時間があれば指導者との地稽古や試合練習をして、より実践的な稽古も行っています。もつと上を目指したい子に対しては、時間を延長したり、別日をもうけたりとより厳しい練習をしています。また春休みや夏休みは、宿題を終わらせてからほぼ毎日体力作りなどを含めて活動しています。

定期的に出稽古も、北は坂井市から南は嶺南方面に行かせていた、だいたいです。特に丹生郡の剣道教室さんとは月一回合同稽古を行い、夏には越前町旧糸生中学校体育館にて小中高校あわせた合同合宿でお互いを高め合っています。

その力を試すために、年間を通して様々な大会に出場しています。鯖

江市・福井県の大会や道場連盟の大会を始めとし、北陸・東海地区などの試合にも参加しています。その成果もあって、先日行われました道場連盟の福井県予選大会では二位入賞を果たし、十三年ぶりの全国大会出場権を獲得することができました。今は七月の福井県大会、その全国大会に向けて日々がんばって稽古しています。

子供達の稽古が終わった後は、指導者同士で共通理解を深め、稽古を行いよりよい指導法も考えています。指導者・保護者・子供達が一体となつて豊地区の剣道が発展し続けていけるようにしていきたいと思っています。

練習日 月・木・金・(土)
練習時間 19:00~20:30

福井少年剣道クラブ

福井少年剣道クラブは、青少年の健全な育成を図ることを前提に、身体と心を鍛え、礼節を尊重する態度を養うなど、豊かな人間になつてもらうことを目的に福井警察署生活安全課の少年係に事務局を置き、昭和五十九年七月に設立されました。

- ・稽古日 毎週3回(月・水・金)
- ・稽古時間 午後6時から午後8時
- ・稽古場所 福井警察署の武道場

(福井警察署の新築移転に伴い、来年度からは福井市開発町地籍に同クラブも移動予定。部員減少に伴いクラブ員募集!!)

事務局

現在は父母代表に事務局を移し、父母と指導者が共に運営を行なっています。

指導者

現役警察官が指導にあたっています。

指導方針

礼儀・作法の習得、剣道の厳しさ、楽しさを覚えてもらい、将来剣道を続けていくことを前提に、技術面では「一本が取れる面」が打てるように日々、繰り返し「面打ち」を中心に指導を続けています。

年間の行事

- ・四月 入部式
- ・ふくい春まつり「越前時代行列」に新田義宗隊として行列に参加。
- ・七月 日本武道館での試合を経験させたいことから、夏休みを利用して「全日本少年武道大会」への参加。
- ・その他、一年を通し、夏合宿、野外活動(バーベキュー等)、寒稽古、納会(餅つき、親子試合)、翌三月卒部式



剣道を志し最初に選んだ道場が、警察署の道場であり、そこで警察官から指導を受けた少年剣士が、当クラブを卒部し、現在、何人もが警察官になつて剣道を続けてくれています。その警察官から、努力を積み重ね福井県代表、警察官代表となり、全国で戦える選手が誕生していることは指導者一同、一番喜ばしいことです。

最後に、「剣道をやりたい子供の気持ち」と「剣道を続けさせたいという親の気持ち」を大切にしていきたくないと思ひ、「勝ち負けに拘つてはいけない」とはよく言われますが、メダルを首に掛け、優勝旗を持った子供の喜ぶ顔は父母にとって宝物で



坂井市春江中学校剣道部

春江中学校は、坂井市の南部に位置しており、約800名の生徒がいる福井県で二番目に大きい中学校です。私たちは「強く・賢く・遅しく」の校訓のもと、明るく元気に学校生活を送っています。

春江中学校剣道部は現在、三年生10名、二年生13名、一年生17名で日々活動を行っています。初心者から剣

あり、選手の自信にもなると信じ、我々指導者一同、実現に向けて指導を続けていきたいと思っていますので、これから先も各先生方の御指導、御鞭撻よろしくお願い致します。福井少年剣道クラブ指導者代表 宮沢昭生

道を始める生徒が多いですが、経験者や先輩方に追いつけるよう日々の稽古に取り組んでいます。

春江中学校は、坂井地区・あわら地区に含まれ、七つの中学校によって地区大会が開催されます。県大会に出場できるのは七校中二校という状況のなか、県大会出場に向けて、部員全員の気持ちを一つにしてがんばっています。

今後、私たちの活動を支えてくださっている先生方や、保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず、日々の稽古をこれからもがんばります。今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。

高志高校剣道部

高志高校剣道部は現在、一年生5人、二年生12人、マネージャー1人の合計18人で活動しています。普段の稽古時間は2時間もなく、剣道場は決して広くはありません。しかし、部員全員が一丸となり、男女アベックインターハイ出場という目標を胸に、日々頭を使い、質の高い稽古を目指し、汗を流しています。また、部員間の仲が非常に良いので、自分の思いや考えを素直に仲間に打ち明けられます。だから、辛い時が何度訪れても、乗り越える事ができますし



たし、これからも乗り越えられる自信があります。卒部していった先輩方もまた、素晴らしい人ばかりで、多くの方が時折稽古に来てくださり、僕たちがよりよくなるようアドバイスを下さいます。

絆が深く、「文武両道」をモットーに日々稽古に励んでいる高志高校剣道部。今年も活きの良い真面目で熱心な先輩が入ってきてくれました。なので、来年度もまた、たくさんの熱い先輩が入ってくることを期待しています。



(記 市村直己)

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十四年五月十三日(日)

於 福井県立武道館

「初段」 一〇六名

- 山品知 誉 (池田中2年)
- 野地勇 佑 (丸岡南中2年)
- 山田桂 太朗 (大東中2年)
- 渡辺 颯 太 (坂井中2年)
- 橋本 宗 洋 (丸岡中2年)
- 松田 耕 明 (成和中2年)
- 戸島 昂 紀 (中央中2年)
- 高井 勇 典 (明道中2年)
- 刀 柵 海 斗 (丸岡中2年)
- 増田 夏 希 (中央中2年)
- 大 林 寛 生 (勝山南中2年)
- 清水 大 督 (至民中2年)
- 南 部 望 (丸岡中2年)
- 牧 野 純 士 (中央中2年)
- 石 田 将 大 (武生第二中2年)
- 西 田 聖 (丸岡中2年)
- 谷 口 拓 (丸岡南中2年)
- 柴 田 性 宗 (成和中2年)
- 伊 藤 佑 樹 (春江中2年)
- 本 多 建 人 (藤島中2年)
- 加 藤 隆 一 (坂井中2年)
- 上 川 翔 吾 (武生第六中2年)
- 中 田 大 貴 (丸岡中2年)
- 山 田 裕 太 (南越中2年)

河邊 松永 上口 加藤 小寺 三原 牧野 斉藤 古里 伊部 斉藤 江守 柿本 加藤 梅木 松川 澤崎 井田 吉田 二木 乗京 薮腰 伊藤 勝本 森山 柴田 高木 林田 池田 牧田 三橋 佐々木
 菖将 慶健 祥太朗 康平 司慎 和真 総司 佑典 秀顕 太聖 希平 昌武 路有 哉汰 行陸 智哉 匠斗 僚輝 大雄 裕太 朋生 涼仁 俊記
 (越前中3年) (丸岡中3年) (成和中3年) (武生第三中3年) (藤島中3年) (鯖江中3年) (森田中3年) (坂井中3年) (春江中3年) (中央中3年) (坂井中3年) (松岡中3年) (鯖江中3年) (藤島中3年) (松岡中3年) (丸岡中3年) (丸岡中3年) (池田中2年) (鯖江中2年) (永平寺中2年) (森田中2年) (南越中2年) (大東中2年) (三国中2年) (武生第六中2年) (武生第三中2年) (丸岡南中2年) (明道中2年) (武生第二中2年)

由比 八幡 湯川 多々見 山腰 西前 斉藤 西川 斉藤 野路 佐藤 五十嵐 辻華 玉村 新屋 高田 小河 小林 田原 堂下 鈴木 中西 宮崎 畑 八杉 大門 西端 山下 北野 大村 山腰 杉本
 万明 加菜 泰加 奈那 穂那 真由美 美月 鈴子 梨裕 友知 香里 萌優 実波 陽平 拓真 啓太 龍之介 竜綺 優護 正樹 克浩 聖矢 隆太 真大 直也
 (丸岡南中2年) (藤島中2年) (丸岡南中2年) (丸岡南中2年) (足羽第一中2年) (三国中2年) (丸岡中2年) (金津中2年) (丸岡中2年) (足羽第一中2年) (丸岡南中2年) (足羽第一中2年) (丸岡南中2年) (大東中2年) (春江中2年) (丸岡南中2年) (永平寺中2年) (丸岡南中2年) (鯖江中3年) (中央中3年) (森田中3年) (森田中3年) (鯖江中3年) (坂井中3年) (丸岡中3年) (丸岡中3年) (成和中3年) (越前中3年) (森田中3年) (武生第三中3年) (坂井中3年)

三段二十六名

安原 吉田 中村 高柴 蓑輪 笈田 安野 大久保 北原 柳原 岡田 小荒 新出 川崎 松浦 石橋 友田 勝見 村上 池原 中川 中田 山崎 竹内 田邊 菅原 竹内 臥龍岡 内藤 関谷
 謙健 人己 克己 慶一朗 和生 凌介 圭哉 泰輝 寬貴 侑志 悠貴彦 浩夢 真結奈 桃子 咲季 雅代 詩穗 亜依香 朱音 美幸 かのん 絵利奈 紗也佳 初音 しお里 那那 香那 祐香 海咲
 (丸岡中3年) (中央中3年) (武生第三中3年) (明道中3年) (大東中3年) (足羽第一中3年) (大東中3年) (中央中3年) (明道中3年) (鯖江中3年) (成和中3年) (越前中3年) (丸岡南中3年) (武生第六中2年) (越前中2年) (大東中2年) (越前中2年) (春江中2年) (丸岡南中2年) (森田中3年) (春江中3年) (藤島中3年) (至民中3年) (丸岡中3年) (春江中3年) (森田中3年) (丸岡南中2年) (丸岡南中2年) (春江中2年) (越前中2年) (大東中2年) (越前中2年) (武生第六中2年) (春江中2年)

五段二名

岡崎 中野 賢利 信彦 (会社員)

四段三名

竹澤 大味 村上 芳文 香代子 数人 (会社員)

参段七名

山下 平田 小玉 植原 小笠原 今村 楠田 奥出 早瀬 遠藤 安岡 墨崎 宮下 豊田 嶋田 小寺 楠田 石田 大嶋 山崎 荒川
 博士 隆幸 祐裕 亨裕 介未 佳那 夏貴 栞奈 真美 夏季 有美 修武 和仁 真司 純平 将史 大智 兼汰
 (嘱託職員) (教員) (科技高3年) (武生高3年) (丸岡高3年) (啓新高3年) (丸岡南中3年) (足羽第一中3年) (丸岡中3年) (丸岡南中3年) (鯖江中3年) (武生第二中3年) (地方公務員) (会社員) (羽水高3年) (啓新高3年) (福井高2年) (三国高1年) (金津中3年) (足羽第一中3年)

平成二十四年五月十三日(日)
於 三方中学校体育館

初段 十四名

吉村和紀 (三方中2年)
 森下大海 (三方中2年)
 山田雄太 (栗野中2年)
 石地翔 (三方中2年)
 木越祥輝 (小浜中2年)
 田辺祐斗 (三方中2年)
 富士原一真 (栗野中2年)
 千田恭大 (三方中2年)
 平口悠介 (栗野中2年)
 坂谷海斗 (松陵中3年)
 河瀬勇大 (松陵中3年)
 瀧野浩平 (角鹿中3年)
 長谷川勇也 (気比中3年)
 水野ひかる (栗野中2年)

三段 八名

緩詰正成 (栗野中3年)
 小谷良介 (栗野中3年)
 三辻颯人 (栗野中3年)
 今井直人 (三方中3年)
 中西雅也 (三方中3年)
 志賀涼 (美浜中3年)
 中村匡佑 (三方中3年)
 上田竜也 (内浦中3年)
 大野真央 (美方高3年)



インドネシア訪問



マルツ電波、土谷靖彦会長(前福井県剣道連盟会長)が仕事でインドネシアのジャカルタ

を訪問されました。その仕事での移動中、インドネシアの教育事情の話の中で、「ジャカルタの青少年の素行が悪い」と言うような話題から、「そのためには武道がいいですね」という話になったそうです。

その時の現地通訳が「以前剣道でされている団体のお客様を案内したことがあるのですが、行ってみましょうか」ということから、急遽その方のお宅を訪問することになりました。

そこは目黒雅男先生という方のお宅でした。土谷会長はその目黒先生と話をしているうちに、いろいろな方との接点(土谷前会長が福井県剣道連盟の会長の時に、研修会で来福された作道先生と親交を持たれたことがあり、作道先生は目黒先生と親交がある)が見えてきて、「まさか、仕事で海外に行き、剣道に接するとは思ってもおらず、世間とはとても狭く、いろ

いろな方との縁があるものだな」と感じられ感動されたようです。剣道を通じていろいろなところで「つながり」ができるのは本当に「交剣知愛」だと思えます。

以下は、目黒先生から土谷会長宛てたメールですが、インドネシアの剣道事情について書かれていたので紹介させていただきます。

土谷先生、この度はジャカルタをご訪問くださり有難うございました。折角のご訪問でしたが、一つお構いも出来ず申し訳なく存じております。急遽、拙宅にお越しただき、先生からお話をお聴きすることが出来ましたことが、せめてもの慰めでございました。先生、次回はもつとお時間をお取りいただき、私どもの拙い稽古風景もご覧くださいます様、お願い申し上げます。

ジャカルタ剣友会主席師範 目黒 雅男

ジャカルタ剣友会(日本人剣士の会)で、これとは別に、現地人剣士によるインドネシア剣道連盟の下部組織であるジャカルタ剣道協

会がジャカルタにあります)には現在、25名ほどの剣士が所属しており、七段教士2名、六段錬士5名、五段6名といったところが高段者の会員です。稽古は基本的には、日本人学校で日曜日午前、サリパン・パシフィック・ホテルのヘルス・クラブで水曜日夜および土曜日夕刻の合計3回です。これとは別に、プンチャックという保養地に私の個人道場「求道館」(この館名は故西山泰弘範士が東京の町田市に構えておられた道場名をお分けいただいたものです)があり、剣道講習会や、試合、或いは、日本人剣士団との交歓稽古会などに利用されております。3年前の道場開きには静岡剣連から飯塚範士はじめ滝川貞司、望月照夫、小山正洋ら八段教士の先生方を含む錚々たる剣士御一行や米国シアトルやシンガポール、タイの剣士達がお出でくださいました。また、一昨年には、三菱武道会の剣士の皆さん約30名が遠征稽古にご利用くださいました。インドネシアは住みやすいところです。ちょっと暑いですが、土用稽古を年中やつてるような感じで心地よいものです。

下部組織であるジャカルタ剣道協

平成二十四年五月六日(日)

京都審査会

称号合格者

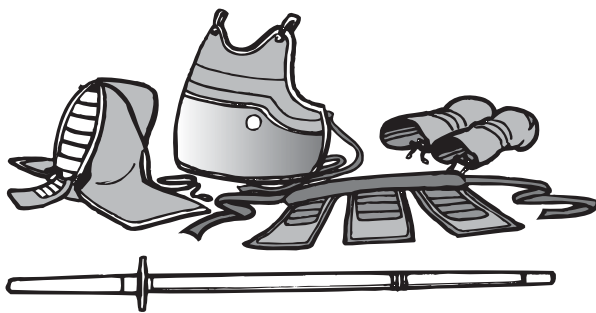
- 錬士 藤田雄治(鯖江)
- 錬士 大辻俊裕(坂井)
- 錬士 畑祐一郎(鯖江)

平成二十四年四月二十九日(日)

京都審査会

七段合格者

- 七段 中村英紀(敦賀)



福井県連の剣士の皆さまもどうか企画されました、近いうちにお出で下さい。インドネシアには、世界に冠たる観光地、バリ島もあります。土谷先生とのご縁も出来ましたので、どうぞお気軽に、防具を携えてお出で下さい。企画に關しましては、私共も協力させていただきますのでご安心ください。心からお待ち致しております。

このように、ほのぼのとして心温まるお話でした。土谷会長も「今回は全く剣道とは関係ないところから思いがけない出会いがあった」と、その時の様子を楽しそうに振り返っておられたのが印象的でした。

みなさんも機会があればインドネシアに足を運んでみてはいかがでしょう？

インドネシア剣道事情

インドネシアのジャカルタ剣友会(日本人剣士の会)で、これとは別に、現地人剣士によるインドネシア剣道連盟の下部組織であるジャカルタ剣道協会がジャカルタにあります(現在は25名の剣士が所属しているそうです。土谷靖彦前

福井県剣道連盟会長が、仕事でインドネシアを訪問しました。その時に、通訳の人から、「昨年剣道の団体のある道場に案内しました」ということを聞いたそうです。そこで、急遽その方のお宅を訪問する事になったそうです。その時にお会いしたのが、目黒雅男先生でした。目黒先生は、大阪のご出身で、有馬光男先生や作道正男先生と親交があるそうです。土谷前会長も、会長時代に作道先生が福井県に講習会の講師として来福された際に、親交を深められた経緯がありこの時に「こんな遠い地に着てまで、人とのつながりはすごいな」と実感されたそうです。

さて、目黒先生ですが、3年前にブンチャックという保養地に「求道館」という道場を開かれたそうです。そこは、日本人剣士団との交歓稽古会などに利用されているそうです。過去に静岡県剣道連盟や米国シアトル、シンガポール、タイ、そして、今回話の元になった、三菱武道会の剣士達が稽古をされたそうです。目黒先生は、「これを機会に福井県剣道連盟の皆様も是非防具を携えて来て頂きたい」とお話されていたそうです。



今回は、全く剣道とは関係ないところから思いがけない出会いがあったと、その時のお話を土谷前会長が振り返っておられました。

求道館

目黒 雅男

〒596-0816

大阪府岸和田市尾生町4-5-5

TEL・FAX 072(443)4788

E-mail mneguro@chn.net.id

HP <http://www.1mlmediacatne.jp/gadou/>

平成24年8月～平成24年12月 事業計画

期日	曜日	事業名	場所	開催者	備考	
8	4 5 6～7 6～9 12 18～20 18 19 19 19 25 26 26 26	土 日 月～火 火～金 日 土～月 土 日 日 日 土 日 日 日	県民スポーツ祭(高校) 県民スポーツ祭(一般) 第33回北信越中学校剣道大会 第59回全国高等学校剣道大会 第54回全国教職員剣道大会 第42回全国中学剣道大会 剣道 七段審査会 剣道 六段審査会 第24回福井県居合道大会 剣道段位審査会 剣道 七段審査会 剣道 六段審査会 北信越国民体育大会 第40回福井県少年少女剣道錬成 武生大会	県武道館 県武道館 長野県 新潟県 山形市 越谷市 長野県 長野県 県武道館 敦賀市 岡山県 岡山県 福井県 越前市	県剣連共催 県剣連共催 北信越中体連 全国高体連 全学剣連 全国中体連 全剣連 全剣連 県剣連 県剣連 全剣連 全剣連 北信越国体事務局 県剣連共催	8:00～ 8:00～ 新潟市 9:00～小道場 中郷体育館
9	2 2 8 8～9 9 16 16 17 22 30 30	日 日 土 土～日 日 日 日 月(祝日) 土 日 日	第51回全日本女子剣道選手権大会 剣道指導者講習会・合同稽古会 北信越合同稽古会 第39回居合道中央講習会 審判法講習会(全剣連) 第58回全日本東西対抗剣道大会 第7回全日本都道府県対抗少年優勝大会 第60回福井県剣道大会(一般) 第60回福井県剣道大会(中高生) 剣道形講習会 居合道伝達講習会	兵庫県 敦賀市 長野県 京都市 県武道館 宮崎県 大阪市 県武道館 県武道館 県武道館 県武道館	全剣連 県剣連 全剣連 県剣連共催 全剣連 大阪府剣連 県剣連 県剣連 県剣連 県剣連	中郷体育館 9:00～ 剣道大道場 9:00～ 9:00～16:00
9/30～10/2 10	日～火 6 7～8 20 27	土 土 日～月 土 土	国民体育大会 常任理事会 近県中学生剣道錬成大会 第47回全日本居合道大会 県中学校秋季新人競技大会 剣道競技	関市 県武道館 県武道館 静岡県 敦賀市	日体協 県剣連 県中体連 全剣連 県中体連	10:00～ 中郷体育館
11	3 4 10 10 11 17 17 18 17～19 23 23 24 26 27 28～29	土(祝日) 日 土 土 日 土 土 日 土～月 金(祝日) 金(祝日) 土 月 火 水～木	第60回全日本剣道選手権大会 福井県実業団剣道大会 剣道・居合道「教士」筆記試験 県中学校秋季強化練習会 第35回全国スポーツ少年団剣道交流大会 福井県予選会 居合道六・七段審査会 剣道七段審査会 剣道六段審査会 県高校新人戦 (都道府県高校男子一次予選会) 剣道段位審査会 第31回少年剣道敦賀大会 女子伝達講習会 剣道六段審査会 剣道七段審査会 剣道八段審査会	東京都 県武道館 県武道館 今庄 東京都 名古屋市 名古屋市 県武道館 県武道館 運動公園体育館 朝日町 東京都 東京都 東京都	全剣連 県実業団連盟 全剣連 県中体連 県スポ少 全剣連 全剣連 全剣連 県高体連 県剣連 県剣連 全剣連 全剣連 全剣連	萩郷・結野・柳市・福野 9:00～ 敦賀市 10:00～16:00
12	2 2 8 23	日 日 土 日	剣道形講習会 居合道大阪大会 北信越合同稽古会 第3回福井県少年剣道強化錬成会	越前市・若狭町 大阪市 富山県 県武道館	県剣連 県剣連	

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776)28-6616